



## 社会福祉資料情報

### 「新聞切抜き帳のご紹介」

今回は、研究所が34年間にわたって行ってきた、独自の新聞切抜き帳についてご紹介したいと思います。

新聞は、現在の社会の動きを知る上でとても重要な資料ですが、同時に過去の出来事の情報を得る点においても有益な資料でもあります。

そこで、研究所では少しでも利用者に幅広い情報を提供できればと思い、1969年頃から、熊本日日新聞、朝日新聞、赤旗新聞を対象に社会福祉に関する記事を網羅的に採録してきました。

2003年までに行った切抜き帳は、約2000冊にも及びます。

採録方法としては、研究所が定めたテーマに沿って切抜き、記事の掲載月日・掲載紙名を記入し、テーマごとに分類されたバインダーにファイルされています。当初は、いくつかのテーマだけでしたが、時代の変化に伴って、2003年には16テーマにまで増加し、子どもの問題・しょうがい者問題、高齢社会問題、労働問題、女性・家族問題、環境・公害問題、在日外国人問題、教育問題、差別・人権問題、沖縄問題など広範囲にわたる記事の採録を行いました。

特徴としては、報道記事にとどまらず、水俣病や老人・子どもに関する連載・企画記事等も積極的に採録してあります。また、同一事件について代表的な記事を1つ選ぶのではなく、複数の記事を採録することで、各紙を比較出来るようになっています。



研究棟1階研究所共同書庫内の新聞切抜き帳

2002年頃からは、書庫の問題やパソコン普及などから、切抜いた記事をスキヤナで読み込みパソコンで保存していくという作業に切り替えました。

しかし、近年の新聞記事データベース化の普及により、探したい記事検索が容易になり、多くの人々が切抜き帳を利用しない状態がうまれてきました。そのため、34年間続いた新聞切抜き作業は、2003年以降中断している状態です。

もちろん、研究所ではこの2000冊にも及ぶ切抜き帳やデータは、これからも大切に保管し、多くの利用者に活用されることを期待しています。ぜひ、過去の出来事の情報が必要だとお考えの際は、一度ご覧になってはいかがでしょうか。

(社会福祉研究所 事務室 佐藤朋恵)



発行所 熊本学園大学附属社会福祉研究所  
〒862-8680 熊本市大江2-5-1  
☎ 096-364-5161 (内線1753)  
発行人 所長 羽江忠彦  
編集人 社会福祉研究所委員会  
印刷所 ホープ印刷 ☎ 096-338-0500

